

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月6日
東

上場会社名 カルビー株式会社 上場取引所
コード番号 2229 URL <http://www.calbee.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 江原 信
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 田邊 和宏 (TEL) 03-5220-6222
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	227,339	9.0	23,715	31.3	26,031	36.6	17,165	37.0
2023年3月期第3四半期	208,499	12.4	18,063	△13.5	19,060	△11.6	12,531	△14.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 20,471百万円(40.5%) 2023年3月期第3四半期 14,569百万円(△7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	137.43	—
2023年3月期第3四半期	97.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	279,606	196,151	66.8
2023年3月期	239,095	182,686	72.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 186,651百万円 2023年3月期 174,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	52.00	52.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	54.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	298,000	6.7	26,000	16.9	28,500	21.5	18,000	21.9	144.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) - 、除外 1社 (社名) Calbee North America, LLC

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	133,929,800株	2023年3月期	133,929,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	9,050,466株	2023年3月期	9,005,241株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	124,906,279株	2023年3月期3Q	128,938,306株

(注) 期末自己株式数には、信託が保有する自社の株式を含めております (2024年3月期第3四半期288,055株、2023年3月期242,865株)。また、同信託が保有する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2024年3月期第3四半期261,112株、2023年3月期第3四半期255,215株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2024年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数124,899,580株により算定しております。
- 当社は、2024年2月6日(火)に機関投資家・アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。この説明会の音声については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、堅調なスナック需要への対応から国内事業が牽引し、227,339百万円（前年同期比9.0%増）となりました。国内事業の売上高は172,333百万円（前年同期比11.7%増）となりました。価格・規格改定効果に加え、土産用製品が大幅に伸長したことや、2023年秋の北海道産原料ばれいしょの収穫量が高水準となったことを背景に、販売促進策を計画的に実施したことから増収となりました。海外事業は、中華圏の不調が続いた一方、好調な英国やインドネシア等がこれを補い、55,005百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

営業利益は23,715百万円（前年同期比31.3%増）となり、売上高営業利益率は10.4%（前年同期比1.8ポイント上昇）となりました。国内事業において、原材料価格の上昇が継続したものの、価格・規格改定効果および販売数量の伸長による増益要因が上回りました。経常利益は、円安の進行に伴う為替差益の営業外収益への計上により、26,031百万円（前年同期比36.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は17,165百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

事業別売上高は以下のとおりです。

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
国内食品製造販売事業	154,282	172,333	+11.7
国内スナック菓子	143,318	160,252	+11.8
国内シリアル食品	18,679	19,483	+4.3
国内その他	10,021	11,468	+14.4
リポート等控除	△17,737	△18,870	—
海外食品製造販売事業	54,216	55,005	+1.5
食品製造販売事業 計	208,499	227,339	+9.0

* 「国内スナック菓子」「国内シリアル食品」「国内その他」の売上高はリポート等控除前の金額を記載しています。

(食品製造販売事業)

食品製造販売事業は、国内事業、海外事業ともに前年同期比で増収となりました。

(国内食品製造販売事業)

・国内スナック菓子

国内スナック菓子は、前年同期比で増収となりました。

製品別売上高は以下のとおりです。

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
ポテトチップス	66,673	73,728	+10.6
じゃがりこ	29,654	33,276	+12.2
その他スナック	46,989	53,247	+13.3
国内スナック菓子 計	143,318	160,252	+11.8

*1 製品別の売上高はリポート等控除前の金額を記載しています。

*2 前期の「新価値製品・その他スナック」を当期より「その他スナック」に名称変更しています。

- ・ポテトチップスは、「うすしお味」等の定番品や「堅あげポテト」を中心に販売増となり、「ピザポテト」および季節限定品の貢献もあったことから、前年同期に比べ増収となりました。
- ・じゃがりこは、定番品および新製品「じゃがりこ細いやつ」の好調な販売から、前年同期に比べ増収となりました。

- ・その他スナックは、「じゃがポックル」等の土産用製品が大きく伸長し、小麦系、コーン・豆系スナックも販売増となったことから、前年同期に比べ増収となりました。

・国内シリアル食品

国内シリアル食品の売上高は、10月以降の増量キャンペーン等の販促活動や企画品が奏功し、19,483百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

・国内その他

国内その他の売上高は、甘しょ事業の卸販売増等により、11,468百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

（海外食品製造販売事業）

海外食品製造販売事業は、前年同期比で増収となりました。

地域別売上高は以下のとおりです。

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)	現地通貨 ベースの 伸び率 (%)
北米	16,785	17,241	+2.7	△2.6
中華圏	18,100	14,378	△20.6	△22.1
その他地域	26,797	30,227	+12.8	+6.2
リベート等控除	△7,466	△6,841	—	—
海外食品製造販売事業 計	54,216	55,005	+1.5	△3.6

*1 中華圏：中国、香港

*2 その他地域：英国、インドネシア、韓国、タイ、シンガポール、豪州

*3 地域別の売上高はリベート等控除前の金額を記載しています。

- ・北米は、豆系スナック「Harvest Snaps」や「かつばえびせん」を中心とした日本発ブランドは引き続き伸長する一方、スナック菓子の受託製造販売減により、現地通貨ベースで前年同期に比べ減収となりました。
- ・中華圏は、景況感の悪化や通関規制強化の影響から、小売店舗向けおよびECチャネルとも全般的に低調な販売となり、前年同期に比べ減収となりました。
- ・その他地域は、英国、インドネシアが伸長し、前年同期に比べ増収となりました。英国ではSeabrookブランド製品の配荷拡大や新製品の発売により増収となり、インドネシアでは、主力ブランドのポテトチップスや生地スナック「Guribee」の販売が伸長したことから増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ40,511百万円増加し、279,606百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の増加に加え有形固定資産の増加によるものです。受取手形及び売掛金の増加は12月末日が銀行休業日だったことにより回収が翌月にずれ込んだことによるものです。有形固定資産の増加の主なものは、広島新工場の建設およびじゃがりこ製造設備の新設です。

負債は、前連結会計年度末に比べ27,046百万円増加し、83,455百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ13,464百万円増加し、196,151百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によって利益剰余金が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は66.8%となり、前連結会計年度末に比べ6.0ポイント低下しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,257百万円減少し、27,034百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,644百万円の純収入となり、前年同期に比べ13,378百万円収入が増加しました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が増加したことおよび棚卸資産増減額の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、28,532百万円の純支出となり、前年同期に比べ15,578百万円支出が増加しました。主に有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、20,738百万円の純収入となり、前年同期に比べ26,085百万円収入が増加しました。主に長期借入れによる収入が増加したことによるものです。

(資本の財源及び資金の流動性に係る情報)

・資金需要の動向

当社グループの資金需要は、営業活動に係る資金支出では製品製造のための原材料費、労務費、経費および販売活動のための販売費、人件費、物流費等の支払いがあります。投資活動に係る資金支出では主に設備投資や成長投資にかかる資金需要、財務活動に係る資金支出は主に親会社の配当金にかかる資金需要があります。これらの資金需要に対しては、成長戦略「Change 2025」に基づき、2024年3月期～2026年3月期の3ヵ年で創出する営業活動によるキャッシュ・フローに加えて、手元資金等や借入金を活用する計画です。

資金需要の具体的な内容

成長投資…国内外の事業成長のための設備投資および新規領域投資、海外基盤強化のためのM&A等

効率化投資…ESG対応、自動化・省人化等の生産性向上のための設備投資

株主還元…連結ベースの総還元性向50%以上、DOE 4% 目途

当第3四半期連結会計期間末時点での資金支出の状況は以下のとおりです。

	2024年3月期 第3四半期 (百万円)	3ヵ年計画 (2024年3月期~2026 年3月期) (百万円)	進捗率 (%)
成長投資	8,027	80,000	10.0
効率化投資	17,986	60,000	30.0
株主還元	6,493	25,000	26.0
合計	32,507	165,000	19.7

・資金調達の方法

当社グループの資金調達の方法としては、営業活動により得られたキャッシュ・フローに加えて金融機関からの借入金等を活用します。当社及び国内連結子会社においてはキャッシュ・マネジメント・システム（CMS）を導入し、グループ内資金を一元管理することにより、余剰資金を集中管理し資金の流動性確保、資金効率の向上を図っております。また、更なる資金の流動性を補完することを目的に複数の金融機関との間に当座貸越契約を締結しており、事業運営上の必要な資金の流動性は十分に確保していると認識しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年10月31日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,167	31,825
受取手形及び売掛金	37,121	55,704
棚卸資産	23,352	24,332
その他	6,439	8,228
貸倒引当金	△110	△97
流動資産合計	98,970	119,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,574	37,759
機械装置及び運搬具（純額）	31,758	36,323
土地	16,330	16,450
建設仮勘定	16,796	29,130
その他（純額）	2,074	2,346
有形固定資産合計	101,533	122,010
無形固定資産		
のれん	23,222	22,500
その他	2,709	2,600
無形固定資産合計	25,932	25,100
投資その他の資産		
投資その他の資産	12,659	12,502
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	12,658	12,501
固定資産合計	140,124	159,613
資産合計	239,095	279,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,553	12,582
短期借入金	1,290	4,334
未払法人税等	3,702	3,549
賞与引当金	5,398	4,370
役員賞与引当金	99	87
株式給付引当金	37	—
その他	21,581	22,590
流動負債合計	45,663	47,514
固定負債		
長期借入金	—	25,000
役員退職慰労引当金	323	87
役員株式給付引当金	297	266
退職給付に係る負債	7,523	7,523
資産除去債務	748	753
その他	1,853	2,309
固定負債合計	10,745	35,940
負債合計	56,408	83,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,046	12,046
資本剰余金	3,242	2,914
利益剰余金	178,329	188,986
自己株式	△24,886	△24,972
株主資本合計	168,730	178,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	488	519
為替換算調整勘定	5,225	7,621
退職給付に係る調整累計額	△332	△463
その他の包括利益累計額合計	5,381	7,677
非支配株主持分	8,574	9,500
純資産合計	182,686	196,151
負債純資産合計	239,095	279,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	208,499	227,339
売上原価	140,050	149,717
売上総利益	68,448	77,621
販売費及び一般管理費	50,384	53,905
営業利益	18,063	23,715
営業外収益		
受取利息	88	284
受取配当金	38	41
持分法による投資利益	—	29
為替差益	974	2,092
その他	160	260
営業外収益合計	1,261	2,707
営業外費用		
支払利息	115	155
持分法による投資損失	1	—
減価償却費	74	129
その他	72	106
営業外費用合計	264	391
経常利益	19,060	26,031
特別利益		
固定資産売却益	14	7
関係会社清算益	—	88
投資有価証券売却益	—	75
助成金受入益	71	36
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	86	—
その他	1	—
特別利益合計	173	207
特別損失		
固定資産売却損	6	3
固定資産除却損	257	181
棚卸資産廃棄損	—	124
その他	18	0
特別損失合計	282	309
税金等調整前四半期純利益	18,951	25,930
法人税、住民税及び事業税	4,799	6,897
法人税等調整額	1,393	1,334
法人税等合計	6,192	8,231
四半期純利益	12,758	17,698
非支配株主に帰属する四半期純利益	227	533
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,531	17,165

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	12,758	17,698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65	30
為替換算調整勘定	1,840	2,872
退職給付に係る調整額	△96	△131
その他の包括利益合計	1,810	2,772
四半期包括利益	14,569	20,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,044	19,461
非支配株主に係る四半期包括利益	524	1,009

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,951	25,930
減価償却費	7,468	7,796
のれん償却額	1,473	1,550
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	23	△19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,410	△1,036
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	27	△15
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	3	△3
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	13	89
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	110	△173
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△187	△190
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8	△235
受取利息及び受取配当金	△126	△325
支払利息	115	155
為替差損益 (△は益)	△1,088	△733
助成金受入益	△19	△36
持分法による投資損益 (△は益)	1	△29
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△75
固定資産売却損益 (△は益)	△7	△3
固定資産除却損	257	181
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,678	△17,875
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,169	△585
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,467	△1,323
未払金の増減額 (△は減少)	△1,251	32
その他	△1,647	△3,137
小計	△1,682	9,936
利息及び配当金の受取額	137	325
利息の支払額	△122	△156
法人税等の支払額	△8,066	△6,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,733	3,644

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,717	△25,281
有形固定資産の売却による収入	13	22
無形固定資産の取得による支出	△811	△492
有価証券の取得による支出	△13,998	—
有価証券の償還による収入	14,000	—
投資有価証券の取得による支出	△162	△244
投資有価証券の売却による収入	46	225
貸付金の回収による収入	78	—
定期預金の預入による支出	△3,493	△5,854
定期預金の払戻による収入	812	3,051
差入保証金の差入による支出	△72	△30
差入保証金の回収による収入	69	14
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,061	—
助成金の受取額	19	36
その他	322	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,954	△28,532
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,765	3,000
長期借入れによる収入	—	25,000
長期借入金の返済による支出	△531	—
自己株式の取得による支出	△4,460	△240
非支配株主からの払込みによる収入	445	279
配当金の支払額	△6,723	△6,497
非支配株主への配当金の支払額	△754	△96
リース債務の返済による支出	△88	△108
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△0	△598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,347	20,738
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,260	892
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△26,775	△3,257
現金及び現金同等物の期首残高	49,670	30,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,895	27,034

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。